

ウ. 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進



I 主な施策

❖ 住民主体によるコミュニティ活動の支援

❖ 豊かな自然・歴史文化を活用した教育の推進

❖ 住民の多様な課題に寄り添う仕組みづくりの推進

❖ 交通弱者の交通手段の確保と運行の充実

II 成果指標 (KPI) の実績

地域活動センター利用者数
(4地区合計)

KPI 41,900人



III 成果指標 (KPI) の分析

4地域活動センター施設利用傾向を分析すると、コロナ禍以降利用者数が増加していたが、2024年度の見込みでは、4地域活動センターとも減少し、合わせて1,400人ほど減少した(前年比95%)。

要因としては、子供の数の減少や高齢化に伴う活動の縮小が考えられ、中学校の部活動では、生徒数の減少による団体人数の減少や、他地区との混合チームにより活動場所が分散化されている状況である。また、サークル団体については、会員の高齢化によって活動回数を減らすなど活動を縮小している団体がでてきている。

住民の活動拠点となる地域活動センター施設は築20年以上経過しているため、建物や設備の老朽化がみられるが、優先度を図りながら修繕等を行い施設機能の維持を図っている。

IV 課題と今後の取組

○現施設利用者の年代層は、高齢者が占めており、子育て世代や若者、転入者等の利用が低いことから、子育て世代等若い方が参画しやすい事業や環境づくりを提案し、新たな利用者の開拓につなげる。

○生涯学習、福祉、防災、生活環境整備等の総合的な地域活動の拠点施設をめざし、幅広い年齢層が使いやすく、安全に使用できる施設となるよう計画的に施設整備を継続して行う。